

## ～哲学の道の概要～



(舗装済区間の状況写真)



(未舗装区間の状況写真)



今後開催する「哲学の道デザイン検討会議」につきましても、今回と同様に随時、皆様へ会議の内容や状況をニュースレターでお届けいたします。



会議の資料、摘録は  
京都市情報館に  
掲載しています。

発行：哲学の道デザイン検討会議事務局  
京都市：土木管理課(電話:075-222-3568)  
京都市：左京土木みどり事務所(電話:075-791-9134)

### 道路や公園で損傷箇所を見つけたら「みっけ隊」アプリで投稿しよう！

「みっけ隊」はスマートフォンから道路等の損傷箇所を写真と地図情報で投稿できるアプリです。  
ぜひ、みっけ隊アプリをダウンロードして投稿して下さい！



みっけ隊 で検索！

みっけ隊ホームページ  
<https://mikketai.city.kyoto.lg.jp>



令和7年7月

## 哲学の道デザイン検討会議ニュースレター

Vol. 2

京都市では、哲学の道の路面デザインについて、京都にふさわしい景観に調和しかつ安全で通行しやすい道となるよう、専門家や地域の方々から意見や助言をいただくことを目的とする「哲学の道デザイン検討会議」を設置しております。

令和7年6月10日(火)に第2回の会議を開催し、事務局(京都市)から路面を整備する上で配慮すべき事項等を説明した後、委員の皆様から整備の必要性、区間に応じた整備や整備時期、路面の種類等について、様々な御意見を頂戴しましたので御紹介させていただきます。

### ～第2回 哲学の道デザイン検討会議の様子～



会議で出た御意見は裏面を御覧ください→

## ～各委員の皆様からいただいた主な御意見～

- ・美しい桜並木を守ってほしい。
- ・舗装工事によるサクラの根へのダメージが大きいのではないか。
- ・十分な予算を確保し、哲学の道にふさわしい、重要文化的景観に優れた道を目指していただきたい。

- ・生活道路として自動車も通行するため、砂利道のままとするのは現実的ではない。
- ・交通量が多くても継ぎはぎが少なく綺麗な状態が保たれるような舗装（石畳風）が良いのではないか。

- ・サクラの寿命が近づいていることが問題だと感じている。
- ・桜並木を維持していくためには、植え替えが必要になる可能性もある。

- ・舗装するのであれば岡崎公園のような土の風合いを活かしたものが良いと考えると同時に、地道ならではの良さも捨てがたい。
- ・現状の地道には多くのデメリットがあることは承知の上で、今後その良さを活かすための新しい方法はないか、引き続き課題として掘り下げて検討していくべき。

- ・沿道の土埃がひどいため、埃が舞わないような何らかの整備が必要。
- ・整備後のメンテナンスがしっかりとできる舗装を望む。
- ・全区間を同じ時期に整備するのではなく、困っている方が多い、車が通行する区間から優先的に整備してはどうか。
- ・その他の区間については、先行して整備した箇所の環境への影響などを確認してから検討するなど、段階的に整備を進める。

- ・現状の地道のままでは、沿道住民の方々、歩行者、そして車椅子を御利用の方などにとって安全・安心な道とは言えないため、何らかの形での整備が必要。
- ・沿道にお住まいの方々への砂埃などの影響を考慮し、車が通行できる箇所から優先して、段階的に整備を進めるのが良いのではないか。
- ・周辺景観との調和と耐久性の両面から、砂利風舗装が良いのではないか。

- ・未舗装区間では、雨の日に大きな水たまりができたり、砂利が側溝に流れて詰まったりする問題が発生しているため、舗装整備を進めることが望ましい。

## ～今後の整備の方向性～

- ・全区間を画一的な舗装で一律に整備を進めるのではなく、それぞれの地域の課題に応じて丁寧に変化をつけながら、全体の基調を整えていくということが望ましいのではないか。

- ・場所に応じたゾーニングを検討していく必要がある。
- ・哲学の道の歴史性を踏まえ、土の風合いを活かしつつ、維持管理もしやすい整備が必要だ。
- ・「この哲学の道をより良いものにしていきたい」という思いを委員の皆様が持っておられることを感じている。

- ・「地道」と「舗装」を二者択一で考えるのではなく、「地道に見える舗装」など、自然景観に調和するものから人工的なものまで多様な選択肢の中から、区間に応じて最適なものを選ぶべき。